

たくさんの人の協力でできた上野三碑かるた

上野三碑かるたの読み札は、原案を全国から募集、高崎経済大学附属高校書道部が多胡碑の書体を参考に清書。絵札は市内在住の画家が現地取材して描いています。箱のデザインは、文字デザインを多数手がける、市内在住のデザイナーが考案。全国からさまざまな世代の人たちの力が集まって完成した上野三碑かるたを、ぜひ手に取って見てください。

4月25日(土)から市ホームページで上野三碑かるたのPR動画が見られます▶



Interview 読み札を考えた人に聞きました



上野三碑を知る
きっかけになりました

「え」の読み札の原案を考えた
高松中3年 桑原克実さん

学校の夏休みの課題で応募しました。インターネットなどを使って調べていくうちに、地域で守っていく価値のあるものなんだと感じ、その思いを率直に読み札に表現しました。選ばれるなんて思っていなかったので、とてもうれしいです。まだ実際に三碑に行けていないので、現地に行ってみたり、もっと調べたりしたいです。上野三碑かるたをぜひ家族とやってみたいと思います。

5000部制作した上野三碑かるたを、今後県内の中学校や高等学校、特別支援学校などの教育機関に配布。4月25日(土)から、県内の主要書店で順次販売する予定です。上野三碑かるたは、読み札・絵札各44枚1セットで、価格は880円(消費税込み)です。遊び方と解説文もあります。三碑をはじめとした文化財



やそれらにゆかりのある人物など、楽しく遊びながら学べる上野三碑かるたに、ぜひ皆さん挑戦してみてください。

上野三碑 かるた

THE THREE STELAE OF KŌZUKE PROVINCE KARUTA

え 永遠に
地域で守る
上野三碑

郷土の魅力が詰まった44枚
遊んで学べる上野三碑かるた
上野三碑や市内外の文化財など、郷土の魅力を伝える「上野三碑かるた」が完成しました。
今月号では、上野三碑かるたの概要などについてお知らせします。
問い合わせは、文化財保護課(☎321・1292)へ。



上野三碑以外にもまだまだあります 市内の史跡や文化財

上野三碑かるたでは、上野三碑以外にも、市の史跡や文化財などを讀んだ札があります。上野三碑かるたで遊ぶことで、今まで知らなかった市の歴史や身近に

ある史跡などについて、新たな発見があるかもしれません。家族や友達とかるたを楽しみながら、もっと市について知ってみませんか。

■ 保渡田古墳群 (井出町・保渡田町、国史跡)



▲八幡塚古墳など3つの古墳からなる古墳群

■ 上野国分寺跡 (東国分町・引間町、前橋市元総社町、国史跡)



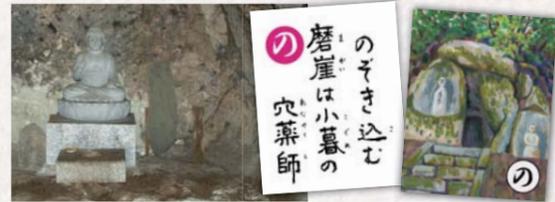
◀20分の1スケールの七重塔の模型

■ 観音塚古墳 (八幡町、国史跡)



▲銅鏡などの出土品は国の重要文化財に指定

■ 小暮の穴薬師 (吉井町小暮、市史跡)



▲古代の横穴墓群。現在は薬師如来像が祭られている

■ 山名古墳群 (山名町、市史跡)



◀かつて60基、現在17基の古墳が存在

■ 漆山古墳 (下佐野町、市史跡)



▲佐野屯倉の地に残る大型前方後円墳

山上碑へやまのうへひ



■ 所在地 山名町
■ 造立 681年

完存する石碑としては国内最古。4行で漢字53字が刻まれており、全て日本語の語順で読むことができる。放光寺の僧・長利が、亡き母の黒壳刀を供養するために建てたもの。隣には黒壳刀自身が埋葬されたと考えられる山上古墳があり、古墳と供養のための石碑が残っている非常に珍しい例

〈山上碑をテーマにした読み札〉



【上野三碑周辺図】



金井沢碑へかないざわひ



■ 所在地 山名町
■ 造立 726年

古代豪族の三家氏が、先祖供養のために建立した。仏教の普及や古代女性の社会的地位の高さなどをうかがい知ることができる。三家氏は山上碑に記された「佐野三家」(ヤマト政権の地方支配拠点)を管理した豪族の末裔とみられる。県内で初めて「群馬」の文字が使われた

〈金井沢碑をテーマにした読み札〉



多胡碑へたごひ



■ 所在地 吉井町池
■ 造立 711年頃

日本三古碑の一つ。石碑は、笠石・碑身・台石からなり、牛伏砂岩に6行、80字が刻まれている。平城京遷都の翌年711年頃に、当時の中央政府の命により多胡郡(現在の吉井町と山名町を中心とする地域)が新設されたことを記念して建てられたもの。江戸時代以降には、朝鮮通信使を通じて中国にまで書風が伝えられた

〈多胡碑をテーマにした読み札〉

